

ミヤコシ

11月にオープンハウス開催 - drupa 出展機含む 11 機種を展示 -

(株)ミヤコシ(本社/千葉県習志野市、宮腰巖社長)は、同社の誇る最新デジタルプリンター11機種を展示する内覧会「OPEN HOUSE 2012」を11月27日から29日までの3日間、同社POD事業部クリーンルームにおいて開催する。

同内覧会では、フルカラーインクジェットプリンター「MJP20MX-7000」、液体トナー方式電子写真プリンター「MiyakoshiDigitalPress8000」の drupa2012 出展モデルのほか、初公開機種としてラベル用フルカラーインクジェットプリンター「MJP13LX-2000」などが展示される。

なお、同社では、会期中に東葉高速鉄道・八千代緑が丘にて会場までの送迎バスの運行を予定している。

【開催概要】

- ▽ 会 期 : 2012年11月27日～29日 午後10時～午後5時30分
(開場は午前9時40分)
- ▽ 会 場 : ミヤコシ・POD事業本部 クリーンルーム/デモセンター
千葉県八千代市大和田新田 1091
- ▽ 問い合わせ : ミヤコシ・POD営業部 ☎047-493-3854

【主な出展機】

・フルカラーインクジェットプリンター「MJP20MX-7000」(drupa2012 出展機)

新開発のインクにより、フィルム、タック紙、コート紙など様々な用紙への印字を実現。さらにコストメリットの高い水性染料インクも選択可能で顧客ニーズに柔軟に対応する。最少ドロップ数(吐出量)の低下により、IJ 線用紙以外の用紙へも「にじみ」や「裏抜け」のない更新室の印字を実現する。

・液体トナー方式電子写真プリンター「MiyakoshiDigitalPress8000」(drupa2012 出展機)

1200dpi×1200dpiの高解像度と独自の転写ロールを使用した「静電+圧力」転写により、オフセット印刷に近い高品質バリエーション印刷を可能とする。さらに圧胴式グリッパ用紙搬送システムの採用により、オフセット枚葉機と同等の見当制度を実現している。

・ラベル用フルカラーインクジェットプリンター「MJP13LX-2000」(初出展機)

初出展となる13インチ幅のラベル用フルカラーインクジェットプリンター。高解像度1200dpi×1200dpi+最大8色印刷で、商業用ラベルに求められる印字品質を再現する。

ラベル用プリンターでは最高域となる50m/minの生産性を確保し、水性顔料インキ採用によるランニングコスト低減も実現している。

・フルカラーインクジェットプリンター「MJP20EX-600」(初出展機)

初出展となる高解像度 1200dpi × 1200dpi + 最大 8 色印刷を実現する、1タワー型エントリーモデルの最新機種。さまざまなアプリケーションで求められる小ロット多品種対応に最適なモデル。

・レーザー加工機「MSP13A-1000」(初出展機)

さまざまなパターンのバリアブル加工を実現するレーザー加工機。ラベル用インクジェットプリンターに組み込むことで、バリアブル印刷とバリアブル加工のインラインを実現する。

・LED-UV 採用スリーブ式オフセット印刷機「MHL13A-3000」(初出展機)

新開発のバリアブルスリーブ式オフセット印刷機は、高い印刷品質と準備時間の短縮を実現。

LED-UV 採用により、環境にやさしく使用電力の低減にも貢献する。

(2012 年 10 月 25 日 印刷ジャーナル 掲載)